

らんぷあんどぷらざニュース

2019年度第2号

2019年6月10日

NPO法人らんぷあんどぷらざ

〒212-0012 川崎市幸区中幸町 3-32-7 光和ビル5F

Tel: 044-201-9086

E-mail: info@npo-lenfantplaza.com

URL: <http://www.npo-lenfantplaza.com>

発行責任者: 安藤 壽子



7月16日より新川崎駅前ビルでの活動開始となります

既にお知らせしましたように、光和ビルの建て替えに伴い、らんぷあんどぷらざは新川崎に移転することとなります。光和ビルでの活動は、7月12日(金)が最終日となります。そして、次週16日(火)より、新川崎駅前ビルでの活動が開始されます。ご不明な点は、相談・指導担当、または、らんぷあんど事務までお問合せください。

現在、新川崎駅前ビルでは内装工事が進められています。きれいな明るい環境の中で、相談・検査、療育・指導がさらにバージョンアップするよう、スタッフ一同努めていきたいと思っております。

ホームページをリニューアルしました

らんぷあんどぷらざでは、心理や言語の相談・検査にもとづいて、ひとりひとりの個性に合った療育・指導を提供することを目指しています。新しいHPでは、そのようならんぷあんとの活動をていねいに説明しています。

HPのリニューアルにともない、ロゴマーク(左上)も専門家にデザインしていただきました。多様な子ども達が集まって、それぞれのよさを発揮し、可能性を伸ばしていける発達支援の場をイメージしています。

6月・7月・8月のセミナー・イベント

★道村静江先生による「子供版漢字セミナー」

- ・6月23日(日) 午前/午後(半日) 3,000円+税 らんぷあんどぷらざ(光和ビル5F)
- ・レベル別2コース(午前/午後に分かれます)
 - ⇒基本漢字コース: 小学校3年生までに学ぶ基本漢字と、漢字の部品を学びます
 - ⇒発展漢字コース: 基本漢字と部品を組み合わせ、高学年から中学生までの漢字を学びます
- ・参加費: 3,240円 定員各15名(余裕がありますので、奮ってご参加ください。)

★楽しい読書教室

- ・第3回 7月7日(日) 13:30~14:30 無料 らんぷあんどぷらざ(光和ビル5F)
今年度も、子どもゆめ基金の助成を受けられることになりました。
- 第4回(9月1日)、第5回(11月17日)、第6回(1月19日)、第7回(2月9日)
あと数名募集中ですので、是非お申し込みください。今年度は小学生のみを対象とします。

★品川理事による「英語集中講座」

- ・8月2・3・4日(3日間) 時間は60分、90分、120分から選択できます
60分/7,000円+税 らんぷあんと(新川崎駅前ビル)
アルファベットから会話まで、お子様の実態に合わせて個別指導します。3日間参加が原則。小学生から高校生まで、ニーズに合わせてメニューを作ります。毎回人気の講座ですので、お早めにお申し込みください。

★クッキング&アート

- ・7月21日(日) 10:00~15:00 8,500円+税 川崎市教育文化会館

午前中は、クッキング。できあがった自作のランチをみんなで囲みます。午後は、昨年度に引き続き、陶芸家の井上先生ご夫妻の指導による陶芸教室。今年はさらにバージョンアップ!

こんな作品も作れます。見本としてらんぷあんとの待合室に展示中です。夏休みの作品として、最高傑作になりそう。

一緒に創る仲間とのコミュニケーションを楽しみながら…。



★リコーダー入門「カントリーロードが吹けるようになろう♪」

- ・7月24日(水)/8月25日(日) いずれも14:00~15:30
- ・2日間で5,400円、1日では3,240円になります(税金込み)
できれば2日間参加が効果的。一曲吹けるようになることで、苦手意識がなくなり、音楽の時間が楽しくなることと思います。学校で使っているリコーダーをお持ちください。

★積み木スタンプ(ワークショップ)

- ・8月22日(木) 午前/午後 詳細はHP、パンフレットに掲載します
アートコミュニケーションをご指導いただいている、アーティスト榎田拓哉氏によるワークショップを開催します。大人も子どもも楽しい時間をお過ごしいただけます。
- ※こどものにわ http://www.codomononiwa.com/about_us.html
- ※都城図書館 http://mallmall.info/images/mall_pamphlet.pdf

アセッツ・スクール訪問記（後編）

古山登紀子先生によるアセッツ・スクール訪問記。

らんぷあんにゅーす第1号に続く後編です。

3月19日(火)、ASSETS SCHOOL K-8 Open Houses 後、Ms. Sandi Tadaki(副校長兼事務部長)の部屋で、ディスレクシアを持つ子どもへの外国語指導について面談をしました。続いて Ms. Darlene Robertson(発達支援部長)の部屋で、ディスレクシアを持つ子どもへの英語の読み書き指導について、和やかな雰囲気の中、教材を間に実践的な指導法について語り合いました。

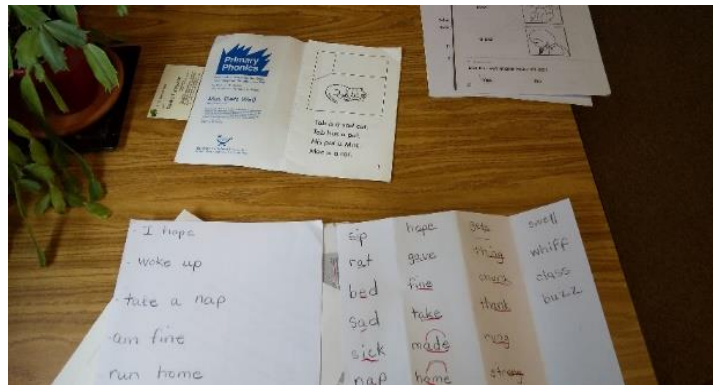


Ms. Robertson の読み書き指導では、テキストの文章に取り組む前に、3つのスモールステップがあります。

まず1つめのステップではカードを使います。テキストの文と単語に使われている文字、及び単語のつづりを分けてパーツにしたもの、すなわちつづりと発音のルールに従っている文字列(例: th, ank)を、カードを使って指導します。つづりの中のパーツのカード教材として、Wilson のマグネティック・ジャーナル(らんぷあんにゅーすの指導で使用)について伺ったところ、「よく使っている!」という彼女からの即答。

次に、2つめのステップでは単語の学習。テキストの単語を一つずつ、つづりを書いて示し、発音とつづりのルールに従っている部分を赤のアンダーラインや○で強調します(下の写真の中、右下)。書かれている単語の縦の列は、発音とつづりのルールに従っています。紙を折って1列のみ強調し、発音とルールを明確化してつづりを指導することもあります。単語を1語ずつ指導するこのステップでは、意味の指導よりもつづりの指導が主になっています。

3つめのステップでは意味指導に重きを置き、テキストの文を読む準備とします。単語1語の意味を教えるのではなく、単語2,3語からなる表現を通して意味を指導することが重要になります(例: I hope, have fun)。テキストの文章中にある、2,3語からなる表現(複数個)を書いて示します(右上の写真の中、左下)。



以上の3つのステップ、すなわち文字とつづりの発音のルール、単語のつづり、2,3語からなる表現の学習を経て、教材の文及び文章(写真の中、上部にテキストあり)を読むことに取り組みます。読解後、子どもの理解度を確認するため、指導者が質問を出します。子どもが文章の内容に正しく答えた時、その答えの根拠となる文章中の表現を指し示すことを子どもに求めることもします。



アドバイスを求めました。英語の読みスキルのために、まず視覚的に、すなわち単語のつづり(文字列)を示し、次に聴覚的に、すなわち文字が示す音を指導する方法を勧められました。

例えば、単語 map(地図)の読みを指導する場合、まず map を子どもに示し、次に m ap (オンセットとライム)に分けた書き方で見せる。次に、m ap に従って2つの区分(m=オンセットとap=ライム)に分けた音を聞かせ、発音も指導する(coarticulation 調音結合を活用)。m ap という分け方(区分が2つ)の方が、m a p という分け方(区分が3つ)よりも記憶するための区分の数が少ないので、聴覚記憶の弱さを持つディスレクシア児には区分が少ない方が有効です。

日本での英語指導に役立つ教材として、複数紹介されました(Island Readers, Primary Phonics, BOB BOOKS)。事務棟内の大きな教材棚(下の写真右の白いキャビネット)に導かれ、アセッツ・スクールの子供たちがお気に入りです。どんどん読む教材 BOB BOOKS の実物を見せて下さいました。

最後に、アセッツ・スクールのカリキュラムに参加するための参考情報です。

- 英語でのコミュニケーションスキル必要。WISC など検査結果の条件あり。
- 日本在住の日本人男子がサマープログラムに参加した事例あり。
- サマープログラム(2019年6月12日~7月12日)
 - ・7:40am-12:30pm)の授業料は 1,450 ドル
 - ・リテラシー指導(多感覚活用)
 - ・テーマベースの数学と科学指導
 - ・興味・強みを伸ばす発展学習。
- サマープログラムは他に、アート、音楽、ドラマなどがテーマのものなど数種類あり。

